

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	315 (7) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	実習地
担 当 教 員	実習施設担当指導者 専任教員(3年生担任)	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 臨床工学技士に必要な臨床支援業務(血液浄化・人工呼吸器を含む集中治療室/体外循環を含む手術室業務・心臓カテーテル業務を含む特殊治療業務・医療機器管理業務・輸液管理業務・上部/下部消化管検査を含む内視鏡業務)を医療施設にて学ぶ						
《成績評価の方法と基準》 実習指導要項に準じ、以下分野で学ぶ ①血液浄化関連実習2単位 ②呼吸療法関連実習1単位 ③循環器関連実習1単位 ④治療機器関連業務1単位 ⑤医療機器管理業務実習2単位 ※④治療機器関連実習には内視鏡業務/輸液管理業務/熱機器管理業務を含む						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 1～2年次に使用した教材、配布資料						
《授業外における学習方法》 自己学習にレポート作成の時間を設け、実習中に学び得た知識と講義での知識の結び付けを行えるような学習を行う。 レポートでは疑問点を調べ、記述した内容を臨床実習施設等に提出し、学習状況の把握に努める						
《履修に当たっての留意点》 臨床実習現場の指導員の指導に従い、1・2年の学びと結びつけるようにして実習に取り組む 疑問点は実習指導者に確認し、理解に努める。また、レポートに記し後学に活かせるように取り組む						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
45 時間	講義 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	臨床実習の目的と臨床の場での行動が理解できる			実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	実習への心構え・実習オリエンテーション			
45 ～ 270 時間	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている目標 に対して行動ができる		各種教科書 配布資料 等	実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	臨床評価実習 ① (血液浄化業務・輸液管理業務を含む)			
45 ～ 270 時間	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている目標 に対して行動ができる		各種教科書 配布資料 等	実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	臨床評価実習 ② (集中治療室・呼吸器業務を含む)			
45 ～ 270 時間	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている目標 に対して行動ができる		各種教科書 配布資料 等	実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	臨床評価実習 ③ (手術室・体外循環・心臓カテーテル業務を含む)			
45 ～ 270 時間	実習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている目標 に対して行動ができる		各種教科書 配布資料 等	実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	臨床評価実習 ④ (MEセンター・内視鏡業務・機器管理業務を含む)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
270 ～ 315 時間	実 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	実習指導者の監督・指導のもと実習要項に記載されている目標 に対して行動ができる	各種教科書 配布資料 等	実習で感じた疑問解決 のための自己学習
		各コマに おける 授業予定	臨床評価実習 ⑤（まとめ）		